



学校教育理念：「**流**とした学校の共創」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成



令和3年6月18日 5号 文責 長松小学校 校長 佐々木講吉

### ◆今日の言葉◆

**「友達は喜びを倍にし、  
悲しみを半分にしてくれる」**

友人関係がうまくいかなかったとき、考えるきっかけをくれた恩師の言葉です。悩んだとき、話せる友達がいたことで安心できました。友達の大切さを改めて感じました。

群馬県「フルーツ」さん(42歳)

\*発行 TOKYO FM

「ジブラルタル生命 Heart to Heart ありがとう、先生!」

コロナ禍とあって、友人や知人とゆっくり話す機会が減り、悩みや心のもやもやを発散する機会も減りました。ストレスがたまるばかりです。

子どもたちもきっと同じような状況ではないのでしょうか？



友人関係、学習のこと、身体的な事、家族のことなど一人で悩んでいることも多いですよ。

悩みを相談するかどうかは、性格もあるようですが、話せる環境を親の方から作り出してあげることも必要かもしれません。

家庭の場合、親の「忙しい、忙しい!」を耳にすれば、子どもは気を遣って、話すのをためらうこともあるでしょう。

思春期ともなれば、話す相手は親から友達に移行することも多いようです。一緒に笑ってくれる友達、一緒に共感してくれる友達など同年代の友達同士が話しやすいでしょう!

お子さんの一番の相談相手でしょうか？

**\*本校のスクール・カウンセラーもご利用ください。**



### 6年生 鼓笛練習本格化・・・!

昼休みには、9月に開催予定の運動会に向けた鼓笛隊の演奏が鳴り響いています。

低学年の子どもたちは、大きく鳴り響く楽器の音に興味津々です。

そんな、ギャラリーの目を意識して6年生もまた、張り切って練習をしています。6年生としての誇らしさを感じているのかもしれませんが。

鼓笛隊は、長松小学校に60年余り受け継がれてきた伝統行事の一つです。100人以上が隊形を組んで校庭を行進しながら演奏する姿は圧巻です。下級生のあこがれの的でもあります。

鼓笛隊は、華麗な姿が目立ちますが、華々しさの裏に反復練習、炎天下での隊形練習など厳しい試練があります。その厳しい練習を乗り越えた時の達成感は子どもたちの成長に欠かせないものです。



1つの目標に向かって、懸命に練習する過程こそ意義があるのです。辛くても仲間がいるから頑張れる集団の力にも意義があるのです。

カッコいいだけでなく、鼓笛隊の意義もしっかりと理解し、「自ら学び 自ら考え 生き生きと活動する長松っ子(長松小の教育目標)」に成長して欲しいと期待しています。



**\*今年の運動会は、9月19日(日)に昨年と同様に午前中開催の昼食(お弁当)無で計画しています。**